

五城目町地域公共交通計画

— 概要版 —

【計画実施期間：令和4年度～令和8年度】

五城目町では、町の地域公共交通のあるべき姿やより良い地域公共交通網の構築のため、「五城目町地域公共交通計画」を策定しました。

町の公共交通の課題

課題① 人口減少・高齢化の進展に対応した地域公共交通網の維持

- 誰もが安心できる移動手段の提供や公共交通の利用促進が必要です。
- 将来の公共交通の維持のため、誰もが公共交通の重要性を認識することが重要です。

課題② 中心市街地を含む公共交通空白地域の解消

- 中心市街地の移動利便性の向上に向け、より利用しやすい中心部の移動手段の構築が重要です。
- 地区の状況に応じた移動手段の検討や新たな交通モードの導入が必要です。

課題③ 公共交通機関の乗継利便性の確保、交通結節点の機能強化

- 適切な乗継時間の調整や必要来訪者のための運行方法の工夫が必要です。
- 豪雪地域に対応する上屋などの待合環境の整備が必要です。

課題④ 地域特性に応じた多様な交通サービスの提供

- 出張相談会の継続や地域主体の運営組織の立ち上げの支援など、住民・行政等関係者が協働で地域にとって最もふさわしい移動手段の検討することが重要です。

課題⑤ 情報提供・発信体制の整備

- わかりやすさに注力し、情報提供・発信体制の整備が必要です。
- 利用者の獲得に向けたイベントへの積極的なタイアップが必要です。

課題⑥ 新たな技術の有効活用

- 交通サービスのシームレス化や環境負荷の少ない移動スタイルの推進が必要です。

目指すべき将来像

基本方針（地域公共交通のあるべき姿）

地域住民が主体となり、公共交通事業者、行政等関係者と協議・連携のもと、誰もが安心して利用しやすい交通環境を実現し、住民の自立した日常生活を支えとともに、地域間交流を促進する拠点づくりを進め、にぎわいあふれるまちの実現を図ります。

～町の活力を支える 将来にわたって持続可能な 地域公共交通の構築～

目指すべき将来像の実現に向けた目標

目標1

中心部と郊外部を効果的・効率的に結ぶ公共交通網の整備



目標2

地域をつなぐ公共交通の連携強化と交通・交流拠点づくり

公共交通がまちのにぎわい創出に貢献します！



目標3

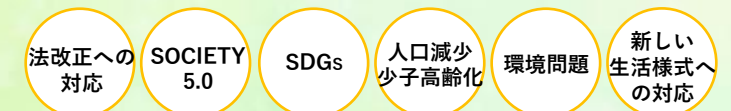
住民が主体となり協働で創りあげる利用しやすい地域公共交通の実現



目標4

様々な環境の変化に対応可能な地域交通システムの実現

「新しい技術や考え方」を取り入れた持続可能な地域公共交通の実現を目指します



五城目町が運行を支援する地域公共交通の年間利用者数

334,599人/年（令和2年度実績） ➡ **334,600人/年以上**（令和8年度目標）

五城目町が運行を支援する地域公共交通に対する財政支出

約1,500万円（令和2年度実績） ➡ **現状を維持**（令和8年度目標）

公共交通利用者の公共交通へ不満を持っている割合

50%（令和3年度実績） ➡ **40%**（令和8年度目標）

公共交通の停留所・待合所に対する満足度

2.70（令和3年度実績） ➡ **3.00**（令和8年度目標）

運転免許証自主返納者を対象とした無料お試しチケットの発行者数

— ➡ **計250人**（令和8年度目標）

五城目町が運行を支援する地域公共交通とは…

路線バス五城目線、南秋地域広域マイタウンバス、乗合タクシー馬場目線、乗合タクシー富津内線、乗合タクシー内川線、南秋地域広域デマンド型乗合タクシー、および本計画に基づき新たに運行を開始する路線を指します。

取り組みスケジュール

事業番号	優先度	事業内容	個別事業	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	関係者					
									地域・町民・五城目町	事業者	交通	市町村関係		
①	◎	公共交通空白地域や中心市街地における新たな交通モードの導入	新たな交通モードの検討	検討・調整	実証運行		評価・検討・調整			○	○			
②	◎	乗合タクシーの運行内容の改善	適切な運行ダイヤ・乗降ポイントの検討											
			未登録者の利用の検討	調整 → 運用										
③	○	多様な移送サービスとの連携	多様な移送サービスとの連携	協議・実施→評価・検討・調整						○	○	○		
④	◎	公共交通の乗継利便性の向上	乗合タクシーの運行ダイヤの調整	随時対応						○	○	○		
			乗合タクシーとの乗継運賃割引の導入		検討 → 実証実験	評価・検討・調整								
⑤	○	公共交通を活用した交流人口の増加促進	観光情報とあわせた公共交通情報の案内	協議・実施→評価・検討・調整					○	○	○			
			各種イベントとのタイアップ、企画切符等の販売の検討											
			イベントチラシに差し込み可能な交通案内の作成	随時実施→評価・検討・調整										
⑥	○	誰もが使いやすい環境の整備	待合環境の整備	調査・検討	随時実施→評価・検討・調整				○	○	○			
			車両の位置・接近を知らせるシステムの導入		導入検討 → 実証実験									
			バリアフリー化の推進	調査・検討	随時実施→評価・検討・調整									
			多様な支払方法の導入	検討 → 実証実験	評価・検討・調整									
⑦	◎	地域で守り支える交通環境づくり	公共交通について地域が議論できる場づくり	支援制度の構築		随時実施→評価・検討・調整			○	○	○			
			地域主体の交通サービス運営組織への支援											
			新たな収入源の確保（ふるさと納税、広告収入など）	受入態勢の整備	評価・検討・調整									
			ノーマイカーデーの推進	ノーマイカーデーの推進	評価・検討・調整									
⑧	◎	周知広報資料の提供	五城目町公共交通マップの作製		マップの作製	評価・検討・調整				○	○			
			地域や属性に合わせたモデルコースの提供		モデルコースの作成									
⑨	○	公共交通への転換支援	モビリティマネジメントの推進	随時実施→評価・検討・調整					○	○	○			
			運転免許証の自主返納者への支援	制度の構築と周知	評価・検討・調整									
⑩	○	新たな技術の導入	ICTによる乗合タクシーの効率化		ICTによる乗合タクシーの効率化 → 実証実験				○	○	○			
			MaaS導入に向けた運行データの作成		オープンデータ化 → 活用									
			環境負荷の少ない交通モードの導入に向けた検討		随時実施→評価・検討・調整									

は優先的に取り組む事業

※上記のスケジュールは、あくまでも想定であり、これから具体的な調整を進めていきます。また、今後の社会情勢などの変化によっては、施策内容が変わる場合があります。

取り組みのイメージ

